

である。

次に臨時議會では現内閣の使命とせられた在滿機構の改革で政友會の一員が煽動した爲に騒が生じた、今度の議會は爆弾動議、五十萬元事件、天皇機體説で終結した、五十萬元事件は裏面に煽動屋、利権屋が働いてゐる、機體説に於ては之により一本権相、金森法制局長官を排撃しそれに替らんとする野望の下に平沼氏の參謀竹内君が策動してゐる、天皇の問題を論せられる時は何時でも社會狀況が非常に變つて來てゐる時である、獨逸の法律は改洛過程にあり之に基礎を置いた日本の法律も大改正の必要がある日本本來の政治形態は天皇親政を中心としての國政でなければならぬ

内閣新議會は時代層人を以て國策を辯議し世の中を改革せねばならぬが岡田内閣では内外の工作は出來ない。吾々は無産

黨の手となり躍進日本の世界的飛躍前後に於ける大改革に邁進しよう。

3、閉會